

都道府県別 TFP(全要素生産性)分析

平成 26 年 10 月

三重県戦略企画部 統計課

(要旨)

- ☞ 三重県は、直近の 10 年間(2002～2011 年度)において、実質経済成長率、TFP 成長率の年度平均が全国で一番高くなっています。
- ☞ 直近の 10 年間(2002～2011 年度)において、実質経済成長率と TFP 成長率が共に高水準で推移している都道府県は、三重県以外では山梨県、長野県、山形県があり、この 4 県に共通するものに「電気機械製造業」の飛躍的な成長があります。

※TFP(全要素生産性:Total Factor Productivity)

実質経済成長率から労働と資本ストックの寄与を除いた残差(ソロー残差)として表され、技術進歩、労働・資本の質的向上、大量生産メリット(規模の経済)、空港の拡張整備など(外部経済)が含まれますが、主として技術進歩を表すと解釈されており、労働と資本ストックの寄与で説明できない要因はすべて含まれます。

1. 実質経済成長率、TFP 成長率ともに三重県がNo.1

1976～2011 年度における全ての都道府県の実質経済成長率を資本、労働及び TFP に寄与度分解しました(参考として図 1 三重県分を表示)。

全国的には実質経済成長率、TFP 成長率も共に低下傾向にあります。しかし、三重県は 2000 年代以降、リーマン・ショックなどによる低迷はありますが、高水準で推移しています(図 1)。

また、三重県は 2002～2011 年度における 10 年間の平均では、実質経済成長率が全国で唯一 3% 台近くにあり(図 2)、TFP 成長率も全国 1 位となっています(図 3)。

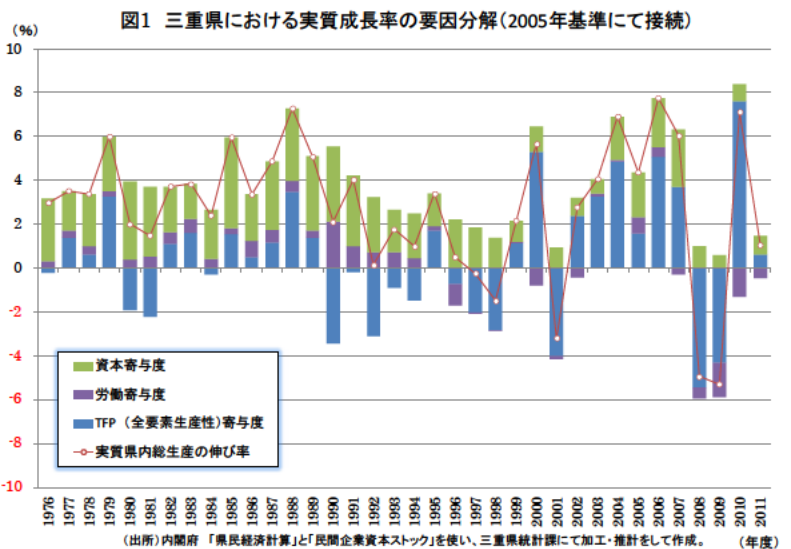


図 2 実質経済成長率(2002～2011 年度平均)

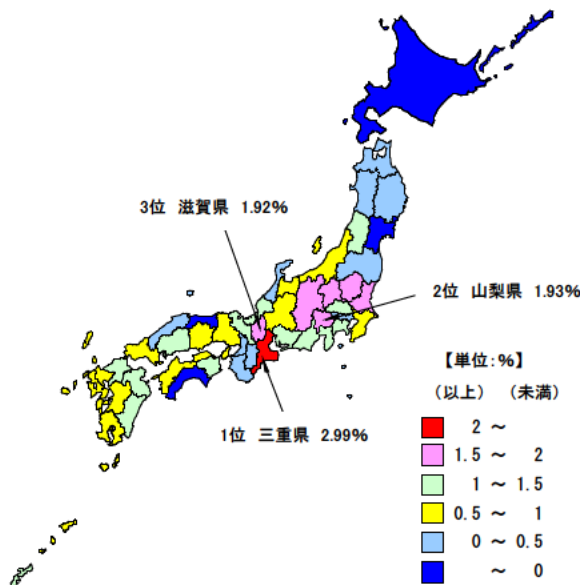
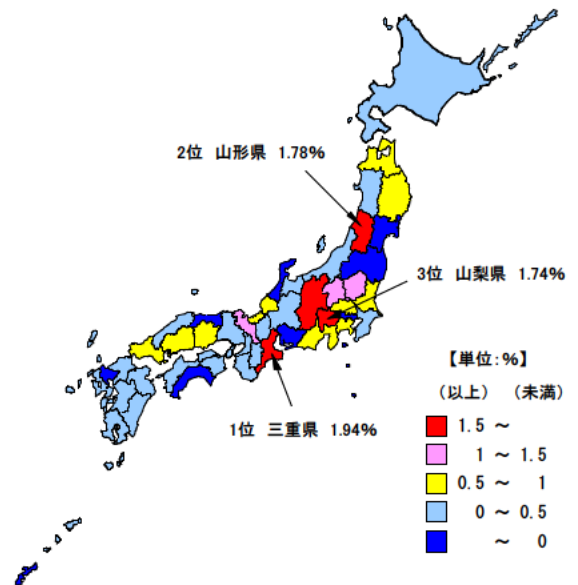
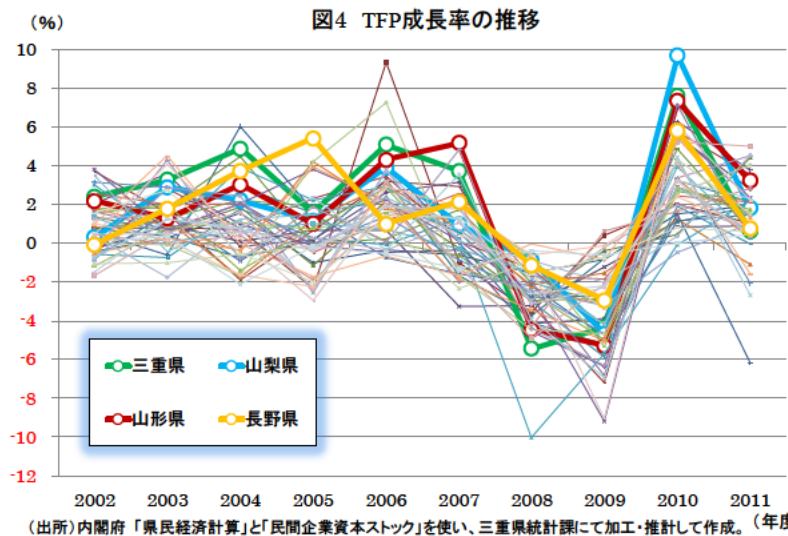


図 3 TFP 成長率(2002～2011 年度平均)



2. 山梨県、長野県、山形県も高水準で推移



TFP成長率(2002～2011年度平均)

- 1位 三重県 1.94%
- 2位 山形県 1.78%
- 3位 山梨県 1.74%
- 4位 長野県 1.65%
- 5位 群馬県 1.17%
- 6位 京都府 1.09%
- 7位 栃木県 1.03%
- 8位 茨城県 0.91%
- 9位 静岡県 0.88%
- 10位 埼玉県 0.87%

実質経済成長率(2002～2011年度平均)

- 1位 三重県 2.99%
- 2位 山梨県 1.93%
- 3位 滋賀県 1.92%
- 4位 長野県 1.73%
- 5位 茨城県 1.69%
- 6位 群馬県 1.62%
- 7位 栃木県 1.61%
- 8位 山形県 1.44%
- 9位 静岡県 1.41%
- 10位 京都府 1.38%

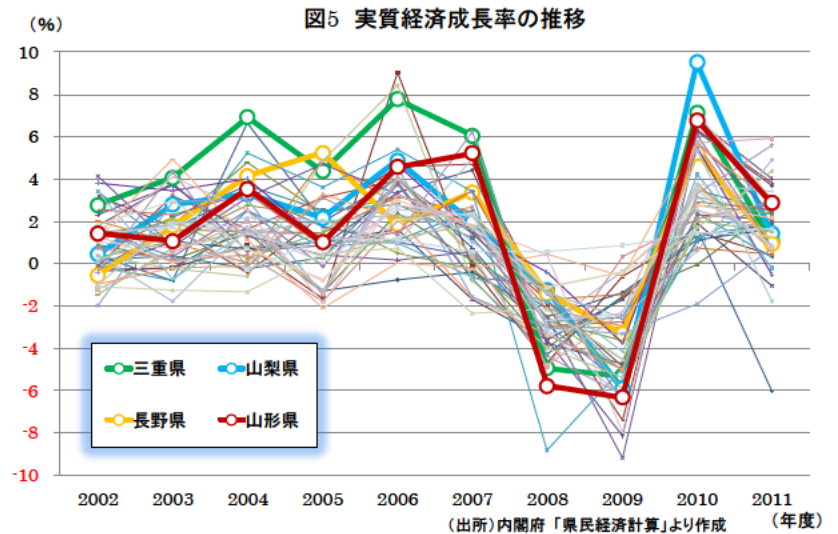
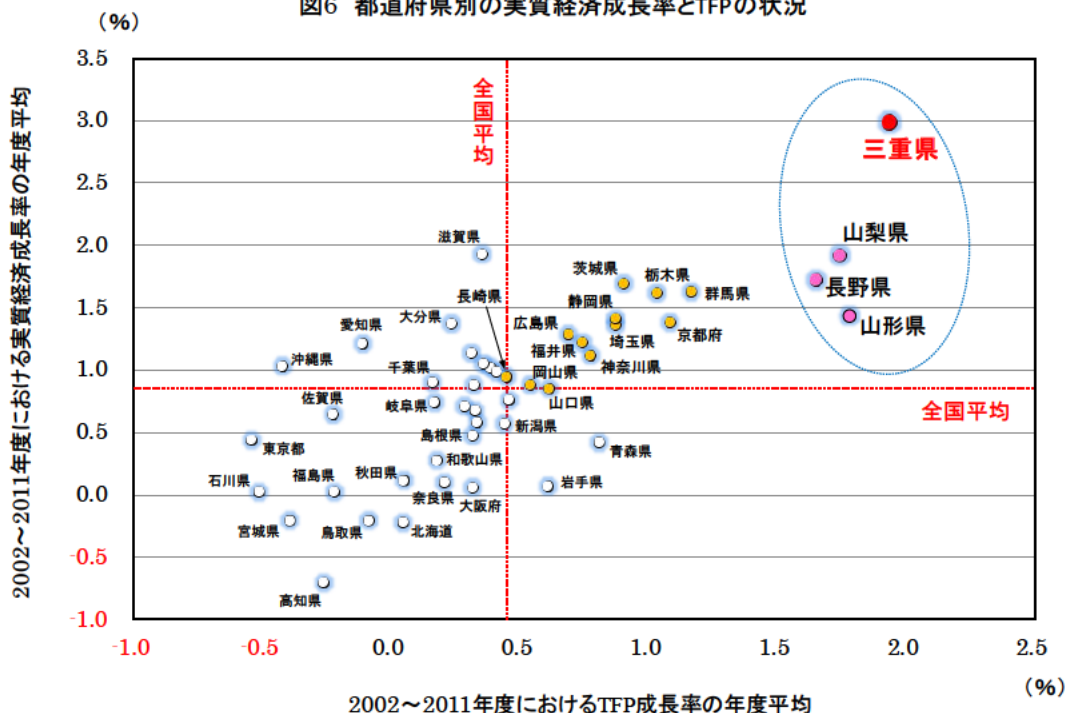


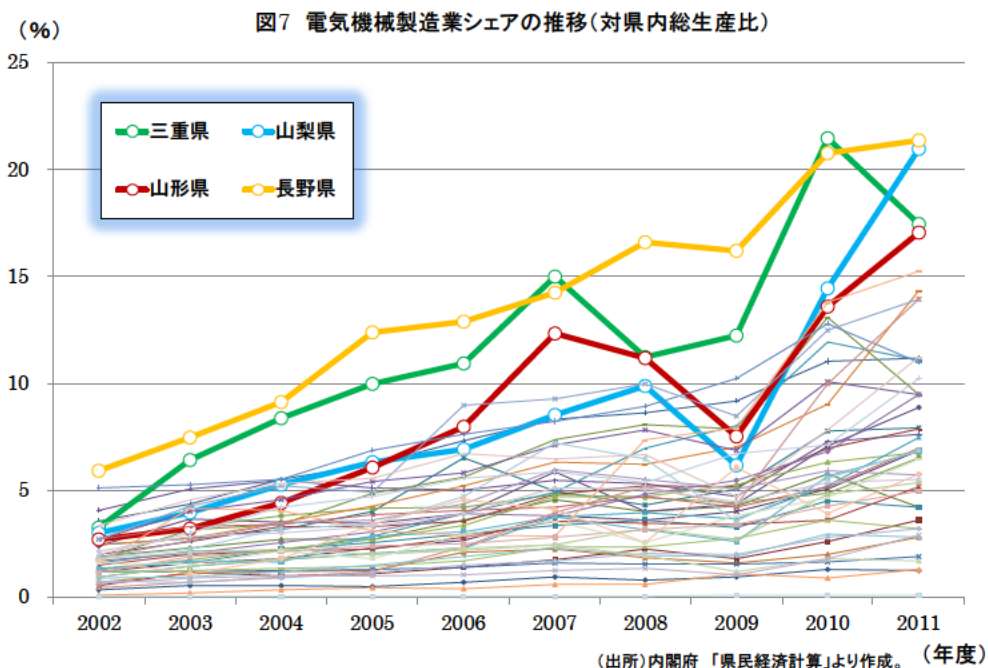
図6 都道府県別の実質経済成長率とTFPの状況



3. 高成長の陰には「電気機械製造業」

実質経済成長率とTFP成長率が共に高水準で推移している、三重県、山梨県、長野県、山形県に共通するのは、「電気機械製造業」のシェアが全国の中で群を抜いて拡大し続けていることです(図7)。

特に、長野県は対外的な経済変動に左右されることなく拡大しています。



「電気機械製造業」の都道府県内における過去10年間(2002→2011年度)のシェア変化をみると、大きくシェアを高めているのは山梨県、長野県、山形県、三重県などで、この4県は同じ10年間(2002～2011年度)平均の実質経済成長率も高い水準となっています(図8)。

